

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	6286	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	図書館資料整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 12 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P131 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営の充実	② 図書資料の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	多様化する町民のニーズに沿った図書館資料を提供し生涯学習に資する。								
対象	町民及び図書館利用者								
内容	豊富で幅広い図書、定期刊行物、視聴覚資料の収集をする。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	6,554,233	5,841,492	6,448,000		
	人件費					
	常勤職員	1,052,096	1,070,300	1,097,800		
	非常勤職員等	269,700	294,720	303,930		
	人件費合計	1,321,796	1,365,020	1,401,730		
	総事業費	7,876,029	7,206,512	7,849,730		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源		934,000			
	一般財源	7,876,029	6,272,512	7,849,730		
	財源合計	7,876,029	7,206,512	7,849,730		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
人口1人あたりの資料購入費		年間資料購入費/人口	円	226.5	209.8	232.0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
人口1人あたりの貸出点数		年間貸出総点数/人口	点	5.4	5.5	5.5

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	教育や文化の醸成は、行政が直接、公的責任のもとで行ったほうがよいと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	図書館資料の収集によって、幅広く多様なニーズに応えることができたと考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	情報提供や文化的な生活を支えるものとして、図書館資料は有効であると考えます。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	全町民を対象としており、乳幼児から高齢者まで幅広い層のニーズに沿った資料を選定、収集している。
平成30年度までの自己評価または改善点	貸出及びリクエスト状況等を踏まえ、需要の多い分野を中心に収集した。また、県内公共図書館との相互貸借や寄贈本の活用等を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 図書館は町直営により運営しており、資料の整備については、町が実施する必要があると考える。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	利用者のニーズを考慮し、平成30年度に引き続き、要望の多い旅行ガイドブック、文庫本の新刊を受け入れる。
令和2年度以降の方向性	今後も町民のニーズに沿った図書館資料を収集、提供する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	6281	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	ブックスタート・セカンドブック推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	9	項	7	目	3	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯教育	(3) 図書館施設・運営の充実	④ 子どもたちに対するサービスの推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	図書と親しむきっかけを作り、学齢期の読書活動の基礎となる「家庭での読書」を定着させる。								
対象	・4か月乳児及びその保護者(ブックスタート) ・小学校1年生及びその保護者(セカンドブック)								
内容	ブックスタートでは、4か月児健康診査において、絵本の配布及び絵本の読み聞かせ等を実施している。セカンドブックでは、小学校入学時に、各児童が希望した図書を学校長が直接手渡し、また、ボランティアによる読み聞かせ等を実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
	事業費	286,973	264,431	258,000	
コスト 人件費	常勤職員	239,816	241,304	199,600	
	非常勤職員等				
	人件費合計	239,816	241,304	199,600	
総事業費	526,789	505,735	457,600		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	526,789	505,735	457,600	
財源合計	526,789	505,735	457,600		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
ブックスタート配布率	配布者数/対象者数	%	100	100	100
セカンドブック配布率	配布者数/対象者数	%	100	100	100
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
児童図書貸出点数	児童図書の利用状況	点	30,224	29,263	30,500

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 4か月児健康診査及び小学校入学の対象者は行政機関しか収集できない情報であるため、町が実施すべきと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 少子化や活字離れ等の傾向が見られる中、親子の読み聞かせや読書へのきっかけを作った。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 図書に親しむきっかけ作りに加え、本を介した家庭内でのコミュニケーションの増進が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 小学校や保健センターと連携し、対象者を把握し実施した。転入児童(1年生)にも配布している。

平成30年度までの自己評価または改善点	事業主管課、ボランティアの協力のもと、事業を円滑に行うことができた。
---------------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 4か月児健康診査及び小学校入学の対象者は行政機関しか収集できない情報であるため、町が実施する必要があると考える。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	年12回実施の4か月健診が令和元年度より年6回となるため、ブックスタートもそれに伴い6回の実施となる。1回の受診対象者が増えると予想されるため、読み聞かせと保護者への説明がスムーズに行えるよう工夫が必要。また、セカンドブックについては「たくさんよんだね手帳」の利用を促進するための方策を検討したい。
令和2年度以降の方向性	家庭での読書の楽しさを実感できる環境を整えるため、事業を継続していく。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	6286	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	図書館施設整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 25 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P131 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯教育	(3) 図書館施設・運営の充実	① 図書館施設整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	建物及び附属設備の老朽箇所を改修・更新することにより安全性と利便性を確保し、町民及び利用者にとって安全・安心で使い易い図書館運営を行うこと								
対象	町民及び図書館利用者								
内容	【平成28年度】 誘導灯交換修繕、屋上建屋改修工事 【平成29年度】 消防設備改修工事 【平成30年度】 安全対策工事・放送設備等改修工事 【令和元年度】 図書館システム機器更新・展示パネル購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
	事業費	6,890,400	4,600,800	2,859,000	
コスト 人件費	常勤職員	299,710	603,120	618,620	
	非常勤職員等				
	人件費合計	299,710	603,120	618,620	
総事業費	7,190,110	5,203,920	3,477,620		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	5,434,000	4,600,000		
	一般財源	1,756,110	603,920	3,477,620	
財源合計	7,190,110	5,203,920	3,477,620		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
利用者一人あたりに換算した事業費	事業費/利用者人数	円	143.9	97.0	60.0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
人口1人当たりの貸出点数	年間貸出総点数/人口	点	5.4	5.5	5.5

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	図書館は町直営により運営しているため、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	竣工から39年を経過しており、建物及び附属設備の老朽箇所について、優先順位を考慮して実施した。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	優先順位を考慮した改修の実施により、建物及び附属設備の安全性及び利便性が高まった。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	建物及び附属設備の改修により、来館する町民及び利用者が安心して継続的に図書館を利用することができる。
平成30年度までの自己評価または改善点	図書館の開館を確保しながら建物及び附属設備の改修を実施するにあたり、町民及び図書館利用者への影響をなるべく避けるため、休館日を有効的に活用する等、施工日及び施工方法に配慮した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	図書館は町直営方式により管理・運営しているため、町が実施する必要があると考える。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和元年度は、老朽化した図書館システムの機器を更新し、経年劣化の激しい展示パネルを新規のものと置き換える。	
令和2年度以降の方向性	今後も建物及び附属設備の状態により、優先順位を考慮しながら、必要に応じて順次改修を行っていく。	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設計画の策定に向けた作業を進める必要がある。
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	6290	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	子ども読書活動推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 17 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営の充実	④ 子どもたちに対するサービスの推進				
関連する個別計画	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画(計画期間:平成29年4月～令和4年3月)に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。								
対象	おおむね0歳から18歳まで								
内容	第三次湯河原町子ども書活動推進計画に基づき、ブックリストやたくさんよんだね手帳の配布、子ども読書まつりの開催等、子どもが本に接し読書に親しむための機会の提供と環境づくりを行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	76,896	41,472	50,000		
	人件費	398,404	422,184	433,034		
	非常勤職員等					
	人件費合計	398,404	422,184	433,034		
	総事業費	475,300	463,656	483,034		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	475,300	463,656	483,034		
	財源合計	475,300	463,656	483,034		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
子ども読書まつり参加人数		主眼となる事業のため	人	53	17	50
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
0歳から18歳までの利用者の貸出点数		本事業の対象年齢	点	15,102	14,278	15,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町全体における子どもの読書活動を推進することを目的としていることから、町が直接実施すべきと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	ブックリストや読書手帳の配布、ブックトークやビブリオバトルの体験講座等を通じて、子どもの読書意欲を喚起した。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	学校図書館や読み聞かせボランティア等との連携のもと、子どもの読書環境の整備が進んでいると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	幼児から中学生に対してのアプローチはできているが、高校生の読書推進については十分とは言えないため、アプローチの方法を検討していきたい。
平成30年度までの自己評価または改善点	小学校においてブックトークを実施したり、ブックリストが学校司書により利用されたりする等、学校図書館の活性化に寄与することができた。また、読書を通じての新たなコミュニケーションの手法として注目を集める「ビブリオバトル」の体験講座を開催し、子どもたちと保護者に実際に体験し興味を持ってもらうことができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 子ども読書に関わる機関の連携を行政が中心となり調整しており、また子ども読書活動推進協議会が事業の推進を担っているため、事業は町が実施する必要があると考える。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	「学校図書館の活性化」、「うちどく(家読)の推進」及び「本を選ぶ力の育成」を取組の重点として、第三次子ども読書推進計画の重点をさらに進めていく。
令和2年度以降の方向性	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画に基づき、引き続き、子どもの読書活動を総合的に推進する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------